

## 総括

[目的] 地域に根差した産業を核とした産業の集積（クラスター）を推進  
 （一次産業から三次産業までの多様な仕事を創出＋地域の経済波及効果）

### [成果]

- (1) これまでのプロジェクトの取り組みを通じて、クラスターの核となる一次産業では一定の基盤整備が整い、生産拡大や雇用の創出が図られてきた。
- (2) 二次、三次産業の展開が進み、新たな加工品の開発や飲食店でのメニュー化等が進み、観光振興につながったプロジェクトも生まれている。

### [課題]

- (1) 二次、三次産業については、一次産業からの展開が十分ではなく大きな拡がりにつながっていないプロジェクトがあるなど、各地域の資源を生かした六次産業化の取り組みにとどまっているものが多い。
- (2) 制度開始から約8年が経過し、プロジェクトを取り巻く環境の変化により、加工用青果の調達難や原魚不足等、当初想定との乖離も発生してきている。このため、今後の取り組みの推進に当たっては、それぞれのプロジェクトの進捗や課題、取り組み内容に応じた支援方法の見直しが必要。

## 今後の方向性

- (1) 「地域産業クラスタープロジェクト」としての位置づけは見直し、引き続き一次産業から三次産業までの多様な仕事の創出に取り組むものについては、地域アクションプランの下で一体的に推進する。
- (2) プロジェクトの取り組みが軌道に乗っているものについては、自立を検討する。
- (3) 一次産業から二次・三次産業への展開が見込めないなど、クラスターの形成が困難なものについては、取り組み内容の見直しを行う。

## 地域産業クラスタープロジェクトの展開

分野	地域	クラスタープロジェクト（CP）名	主な指標と評価			
			一次	二次	三次	
農業	安芸	①日本一のナス産地拡大CP	出荷量 S	加工品開発数 A	—	
		物部川	②南国市農業CP（ニラ、シシトウ、ピーマン類、還元野菜）	生産量 B	新商品数 D	—
			③日本一のニラ産地拡大CP	販売額 B	—	イベント日数 S
	嶺北	④嶺北畜産CP（土佐あかうし、大川黒牛、土佐はちきん地鶏）	あかうし販売額 S	—	さめうら荘利用者 D	
		⑤本山町施設園芸生産拡大CP（パプリカ）	出荷量 A	—	交流人口拡大 S	
	仁淀川	⑥日高村トマト産地拡大CP	販売額 B	商品開発件数 B	オムライス販売数 B	
		⑦いの町生姜生産・販売拡大CP	出荷量 S	加工品開発数 S	—	
	高幡	⑧四万十次世代ハウス団地におけるトマト等栽培の経営強化CP	販売額 C	加工品売上額 —	—	
		⑨四万十のうまい豚CP	出荷頭数 C	加工品売上額 S	—	
		⑩四万十のうまい栗・芋CP	JA乗集荷量 B	加工品売上額 S	—	
		⑪くろしおミョウガ生産拡大CP	出荷量 A	—	メニュー定番化 S	
幡多	⑫宿毛市イチゴ・柑橘成長CP	イチゴ販売額 A	—	加工品等開発 S		
林業	嶺北	①嶺北林業CP	素材生産量 B	加工品売上額 D	研修宿泊者数 D	
水産業	幡多	①宿毛・大月養殖ビジネス高度化CP	マダイ生産 S	加工品出荷額 B	観光入込客数 D	
		②土佐清水メジカ産業CP	漁獲量 D	宗田節出荷数 C	観光入込客数 B	
その他	高知市	①竹資源活用CP	売上額 —	加工品売上額 D	—	
	仁淀川	②仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業CP	農業従事者数 A	端材活用量 A	入込客数 —	



※「評価」は、代表的な数値目標に対する達成見込み。評価基準は地域アクションプラン（資料2-3）と同じ。

# 物部川地域 地域産業クラスタープロジェクト 実行3年半の取り組みの総括（案）

資料3

## 【農業】 南国市農業クラスタープロジェクト

主要農産物であるニラ、シシトウ、ピーマン類と「還元野菜」の生産拡大を核に、市内の消費拡大（地産地消）や加工品の開発及び観光などとの連携（地産外商）を強化し、「南国野菜」の産業クラスター化を通じて、南国市の特色を生かした「稼げる農業」の実践により、地域活性化に繋げる。

地域: 南国市

実施主体: 南国市、JA高知県、(株)南国スタイル、(株)トリムエレクトリックマシナリー、Aitosa(株)、農家レストランまほろば畑、(株)西島園芸団地、南国市観光協会、物部川DMO協議会、(株)道の駅南国、SLICK(株)、グッドラックカンパニー(株)、現代企業社、高知県

取り組みの内容

- ・新規参入農業法人の次世代型ハウス整備に向けた支援や整備後の栽培技術指導等の実施
- ・「還元野菜」のインターネット販売の実施
- ・学校給食食材の受注・配送の実施
- ・南国市中小企業振興事業費補助金事業による商品開発への支援

主な成果

- ・ニラ・シシトウ・ピーマン類生産量（年間） R2：2,224t → R4：2,364t
- ・「還元野菜」の売上（年間） R2：610万円 → R4：917万円
- ・学校給食における地元野菜の供給割合（金額ベース）（年間）  
R2：22.1% → R4：28.4%
- ・地域資源を活用した新商品数（累計） R2～：6品目

今後の方向性

- ・安定出荷に向けた栽培技術支援の継続
- ・新たに次世代型ハウス（シシトウ）を整備する農業法人への支援
- ・「還元野菜」のインターネット販売の継続
- ・南国市中小企業振興事業費補助金事業による商品開発支援の継続



## 【農業】 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト

日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラの生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクト（「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」）に取り組むとともに、そぐりセンターの活用や、新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店でのメニュー開発等によりクラスターの形成を図る。

地域: 香南市、香美市

実施主体: 香南市、香美市、JA高知県香美地区

取り組みの内容

- ・収量向上に向けた指導
- ・そぐりセンターの整備や包装設備導入による作業の効率化
- ・そぐりセンターの周年安定稼働に向けた出荷の呼びかけ
- ・指導農業士の増員、新規就農者への栽培技術・経営への支援
- ・イベントでのニラメニューの提供

主な成果

- ・ニラ販売額（年間） R元：27.2億円 → R4：29.6億円
- ・ニラ出荷量（年間） R元：4,281t → R4：4,349t
- ・新規就農者数（累計） R2～：8人
- ・雇用創出数（累計） R2～：6人

今後の方向性

- ・そぐりセンター利用量の拡大による出荷量増加
- ・新規就農者の栽培技術・経営への支援の継続
- ・ニラ集出荷場での包装ラインの効率化支援
- ・ニラメニュー認知度向上・消費拡大に向けた情報発信・イベント実施

